

滋賀県内における 労働災害の発生状況

(令和6年12月末現在)

滋賀労働局 労働基準部 健康安全課

【 目次 】

- 1 死亡労働災害の発生状況
 - 滋賀県内の死亡災害件数（年間 / 12月末現在）
 - 滋賀県内の令和6年の死亡災害（令和6年12月末現在）
 - 滋賀県内の死亡災害件数（業種別・年別）

- 2 死傷労働災害の発生状況
 - 滋賀県内の死傷災害の業種別内訳（令和5年 / 令和6年（12月末現在））
 - 滋賀県内の死傷災害件数（年間 / 12月末現在）
 - 全業種・製造業・建設業・運輸交通業・社会福祉施設
 - （新型コロナウイルス感染症関係を除く）

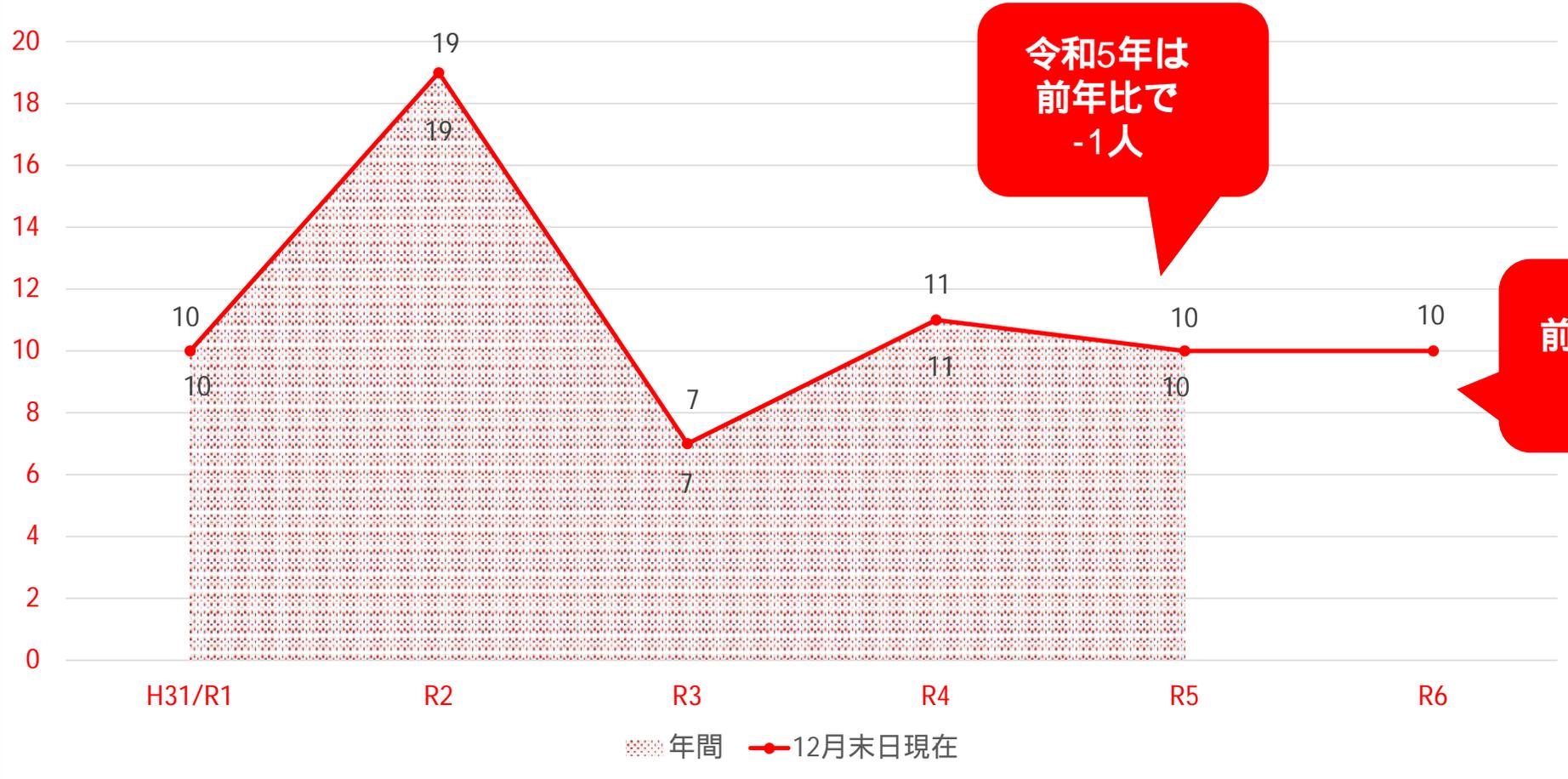
- 3 事故の型別労働災害の発生状況に関する統計
 - 滋賀県内の死傷災害の型別割合
 - 全業種・製造業・建設業・運輸交通業・第三次産業

- 4 その他労働災害発生状況に関する統計
 - 滋賀県内の「転倒」災害の件数（年別）
 - 滋賀県内の製造業における「はさまれ・巻き込まれ」災害の件数（年別）
 - 滋賀県内の建設業における「墜落・転落」災害の件数（年別）
 - 滋賀県内の道路貨物運送業における死傷災害の件数（年別）
 - 滋賀県内の社会福祉施設における「転倒」・「動作の反動・無理な動作」災害の件数（年別）
 - 滋賀県内の小売業における「転倒」・「動作の反動・無理な動作」災害の件数（年別）
 - 年代別災害件数と転倒災害の割合（令和6年（12月末現在））

1 死亡労働災害の発生状況

滋賀県内の死亡災害件数（年間 / 12月末現在）

【全業種】

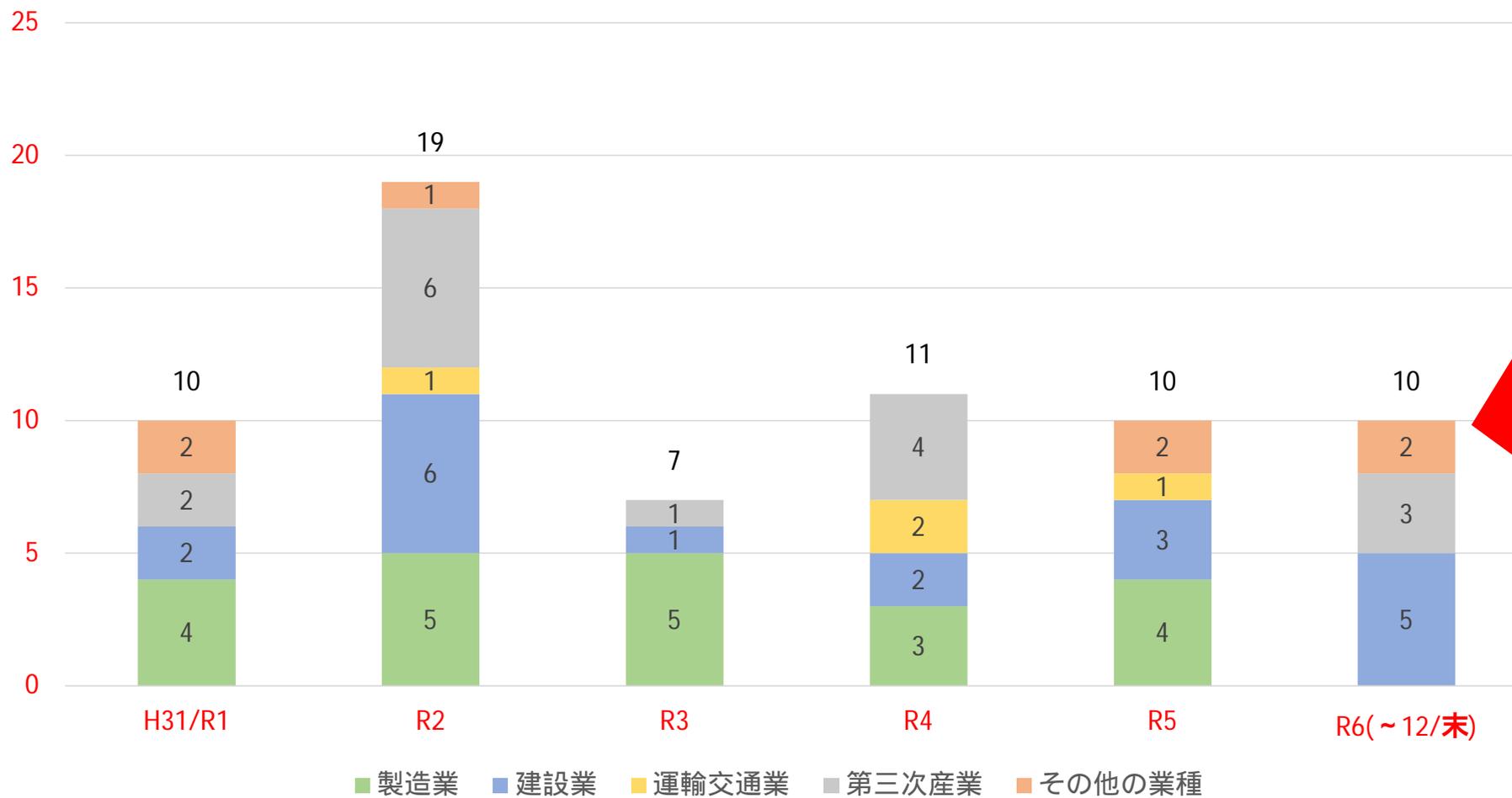


滋賀県内の令和6年の死亡災害（令和6年12月末現在）

番号	業種 (規模)	発生月 時間帯	事故の型	被災者の職種 年代	発生概要
1	鉄骨・鉄筋コンクリート造 家屋建築工事業 (2名)	1月 13時頃	墜落・転落	鉄骨工 30代	新築工事の鉄骨建て方作業において、ラフタークレーンでつり上げた鉄骨柱を梁にボルト固定するために、鉄骨柱に取り付けられた胴縁上を歩いていた被災者が、5.8m下の地面に墜落したものの。
2	新聞販売業 (34名)	3月 3時頃	交通事故	新聞配達 30代	ミニバイクに乗車し新聞配達中、交差点で乗用車と出会い頭に衝突したものの。
3	道路建設工事業 (8名)	3月 11時頃	激突され	作業員 60代	進入路整備工事における立木の伐採作業中、枝集めを行っていた被災者が倒木付近に倒れているところを発見されたものの。
4	産業廃棄物処理業 (9名)	7月 12時頃	はさまれ・巻き込まれ	作業員 80代	被災者は、圧縮成型機の内部に溜まる屑をエアブローで吹き飛ばす作業を行っていた。操作盤で機械を運転していた同僚が電源を切り移動中に、被災者が機械の本体フレームと可動フレームとの間に挟まれているところを発見したものの。
5	道路建設工事業 (1名)	9月 13時頃	はさまれ・巻き込まれ	作業員 60代	道路舗装補修工事において、別の作業員が搭乗型ローラーを運転して土砂を転圧していたところ、走行範囲に立ち入った被災者が轢かれ、死亡したものの。
6	産業廃棄物処理 (19名)	9月 15時頃	はさまれ・巻き込まれ	作業員 20代	再生砕石プラントにおいてコンクリートガラの破碎作業中、被災者が破碎設備に設けられたベルトコンベヤーのロール部と地面との間に挟まれた状態で発見されたものの。
7	新聞販売業 (9名)	10月 4時頃	交通事故	新聞配達 70代	新聞配達のため軽トラックを運転中、対向車線から右折した別のトラックと衝突したものの。
8	道路建設工事業 (3名)	10月 9時頃	崩壊・倒壊	作業員 50代	地山によう壁を設置する作業中、よう壁を支えるサポートが外れたためこれを拾いに地山とよう壁との間に立ち入ったところ、倒れたよう壁と地山との間にはさまれたものの。
9	新聞販売業 (15名)	10月 6時頃	交通事故	新聞配達 60代	業務を行っていた新聞配達員が、道路上で倒れていたところを発見され、その後死亡が確認されたものの。
10	木造家屋建築工事業 (2名)	12月 14時頃	転倒	作業員 50代	ドラグショベルをトラックに積込むため、荷台にバケットを突き支えにしてクローラを前方を持ち上げた際に、ドラグショベルがバランスを崩して横転し、運転席から投げ出された被災者がヘッドガードに胸部を挟まれたものの。

本資料は、県内等での同種災害の再発防止に資することを目的に作成しています。
速報性を重視しているため、今後において加筆・修正を行う場合があります。

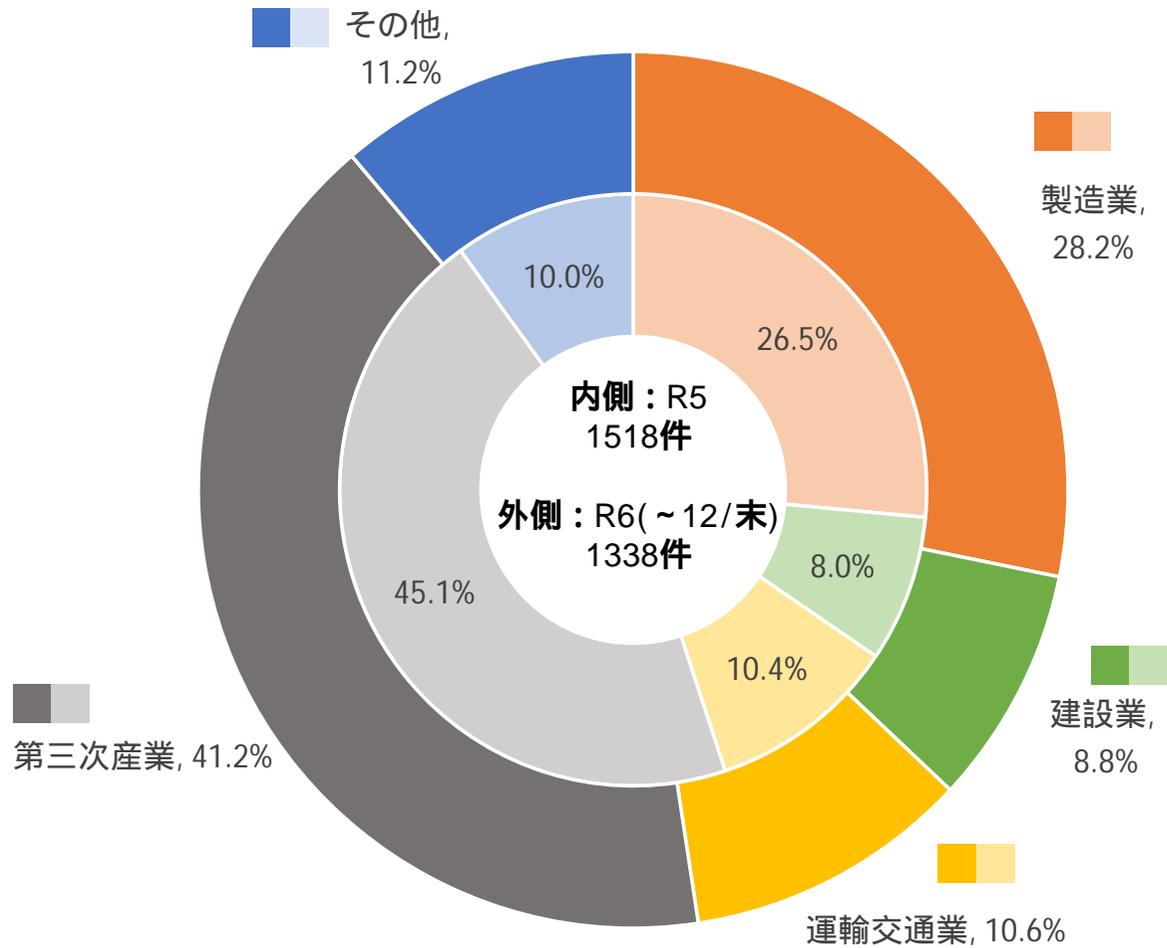
滋賀県内の死亡災害件数（業種別）



製造業・運輸交通業での死亡災害は0。一方で建設業は昨年の件数を上回り3年連続増加が確定

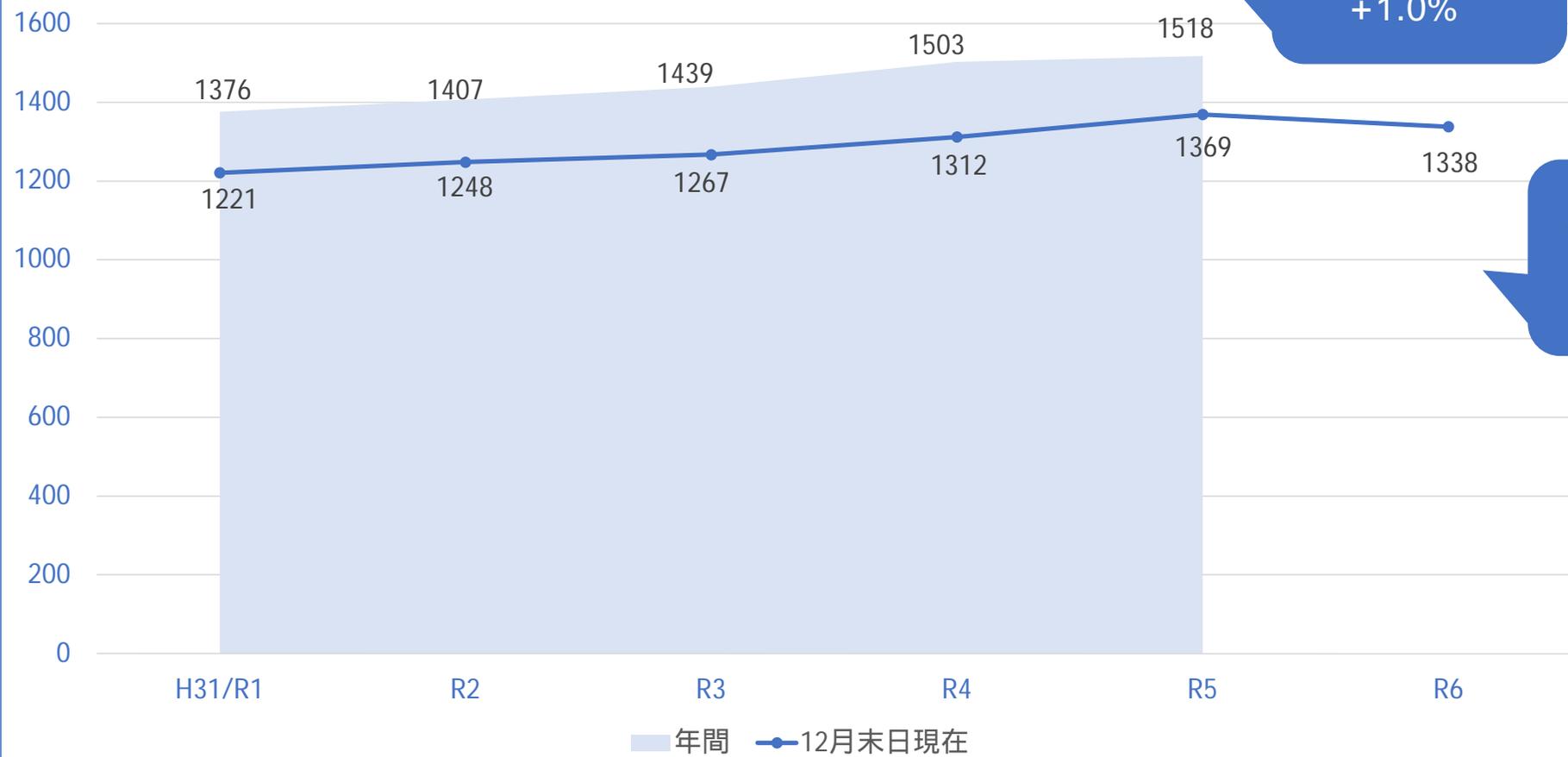
2 死傷労働災害の発生状況

滋賀県内の死傷災害の業種別内訳



令和5年に比べ、
令和6年は第三次
産業の比率が若干
減少し、製造業の
比率が逆に若干増
加している。

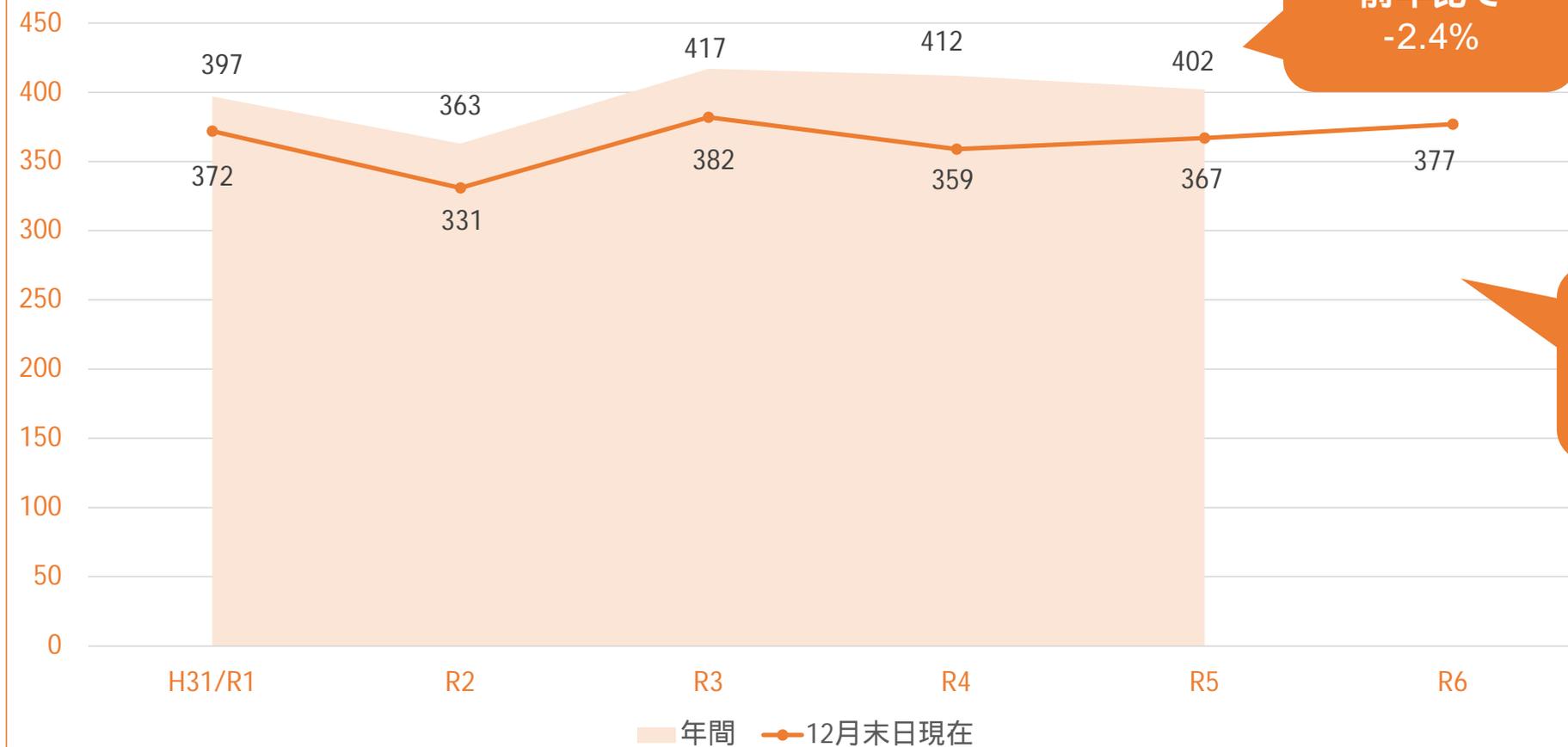
滋賀県内の死傷災害件数（年間 / 12月末現在） 【全業種】



令和5年は
前年比で
+1.0%

前年同期比で
-2.3%

滋賀県内の死傷災害件数（年間 / 12月末現在） 【製造業】

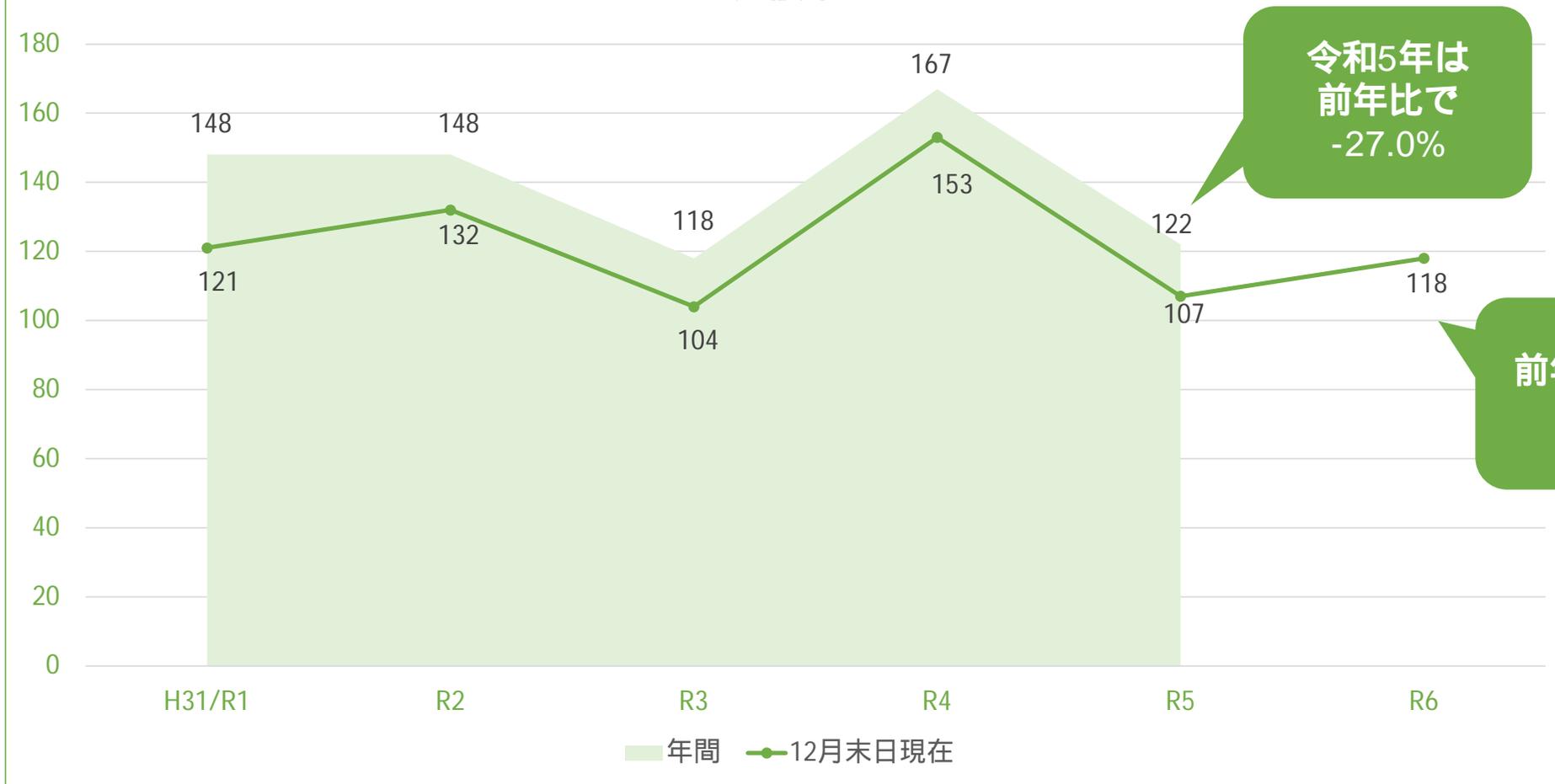


令和5年は
前年比で
-2.4%

前年同期比で
+2.7%

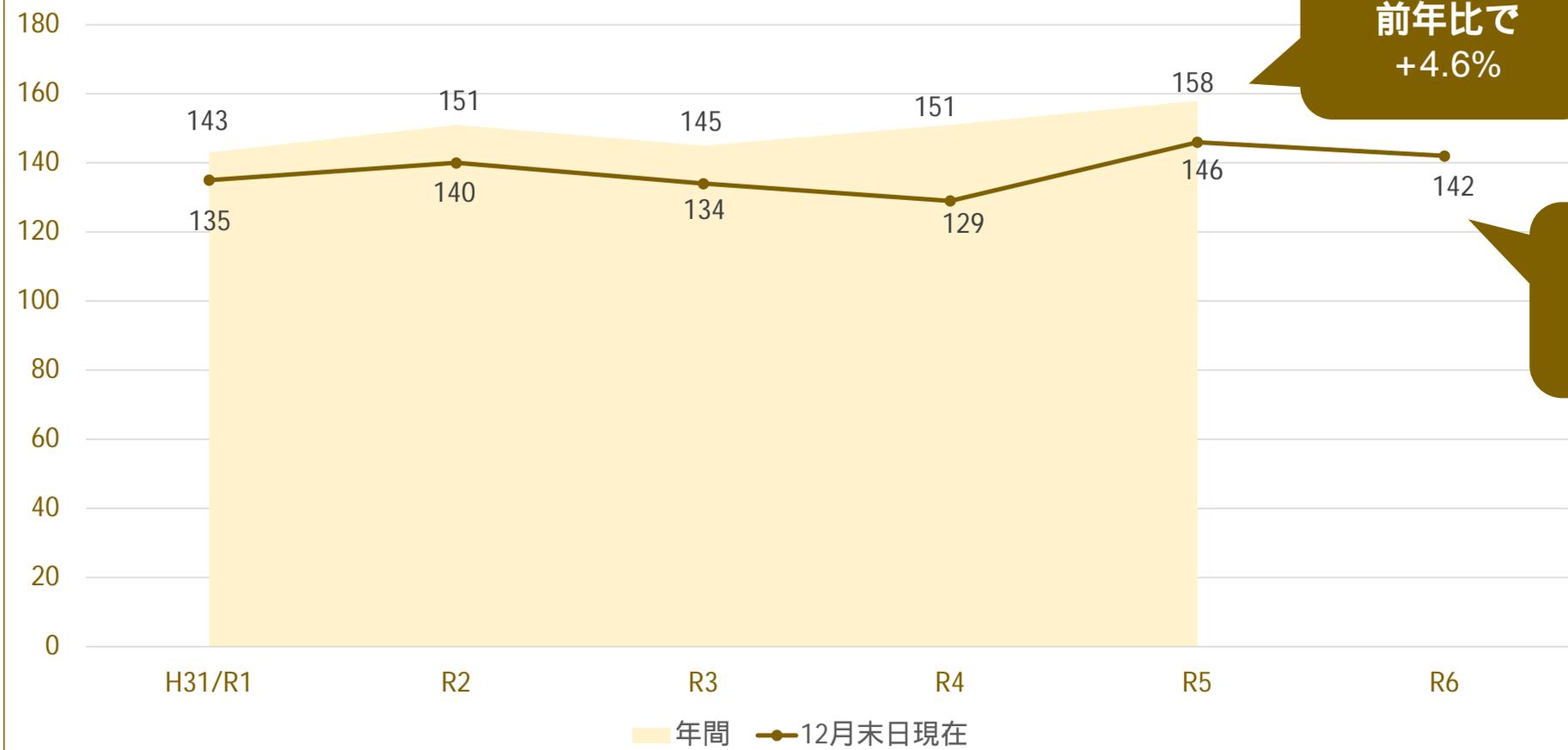
滋賀県内の死傷災害件数（年間 / 12月末現在）

【建設業】



滋賀県内の死傷災害件数（年間 / 12月末現在）

【運輸交通業】

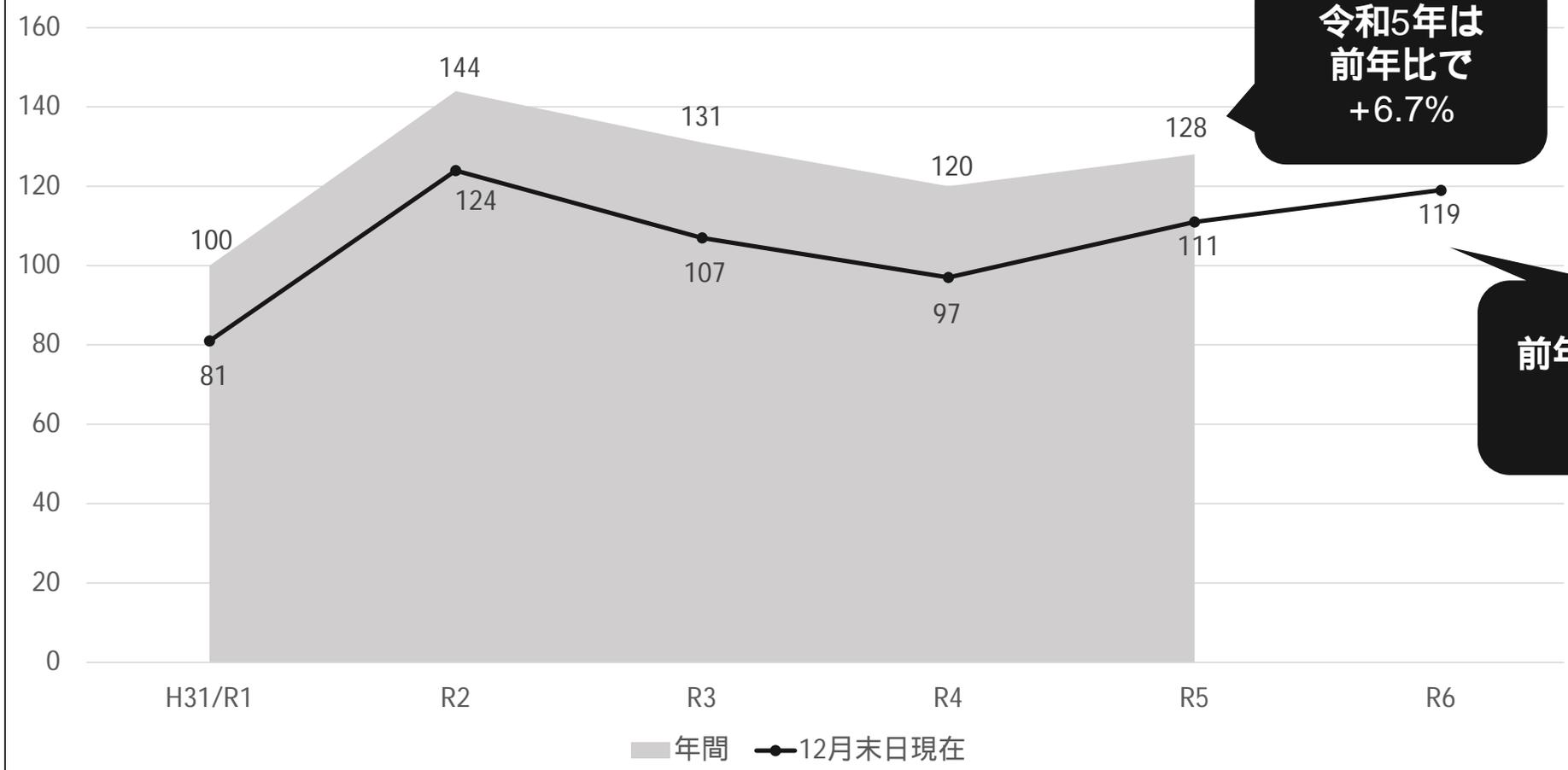


令和5年は
前年比で
+4.6%

前年同期比で
-2.7%

滋賀県内の死傷災害件数（年間 / 12月末現在）

【社会福祉施設】

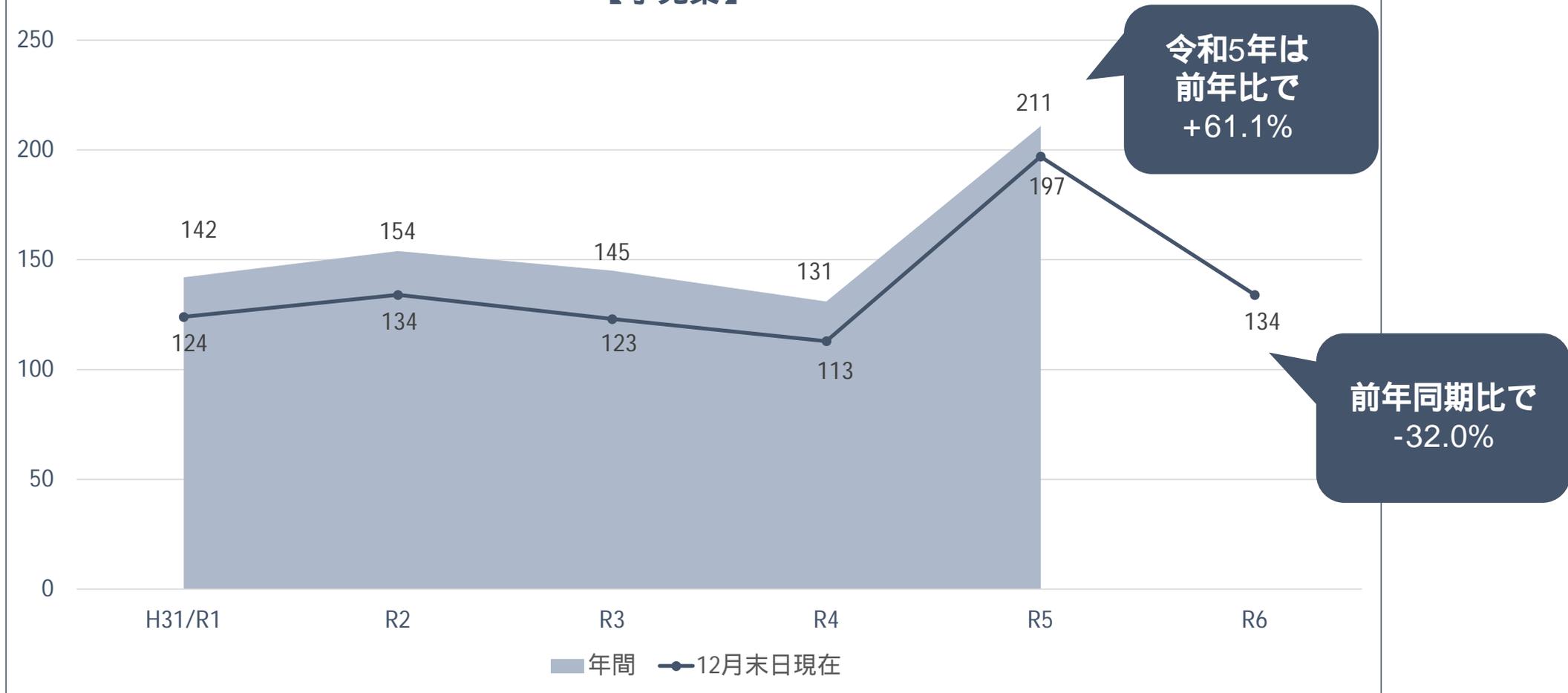


令和5年は
前年比で
+6.7%

前年同期比で
+7.2%

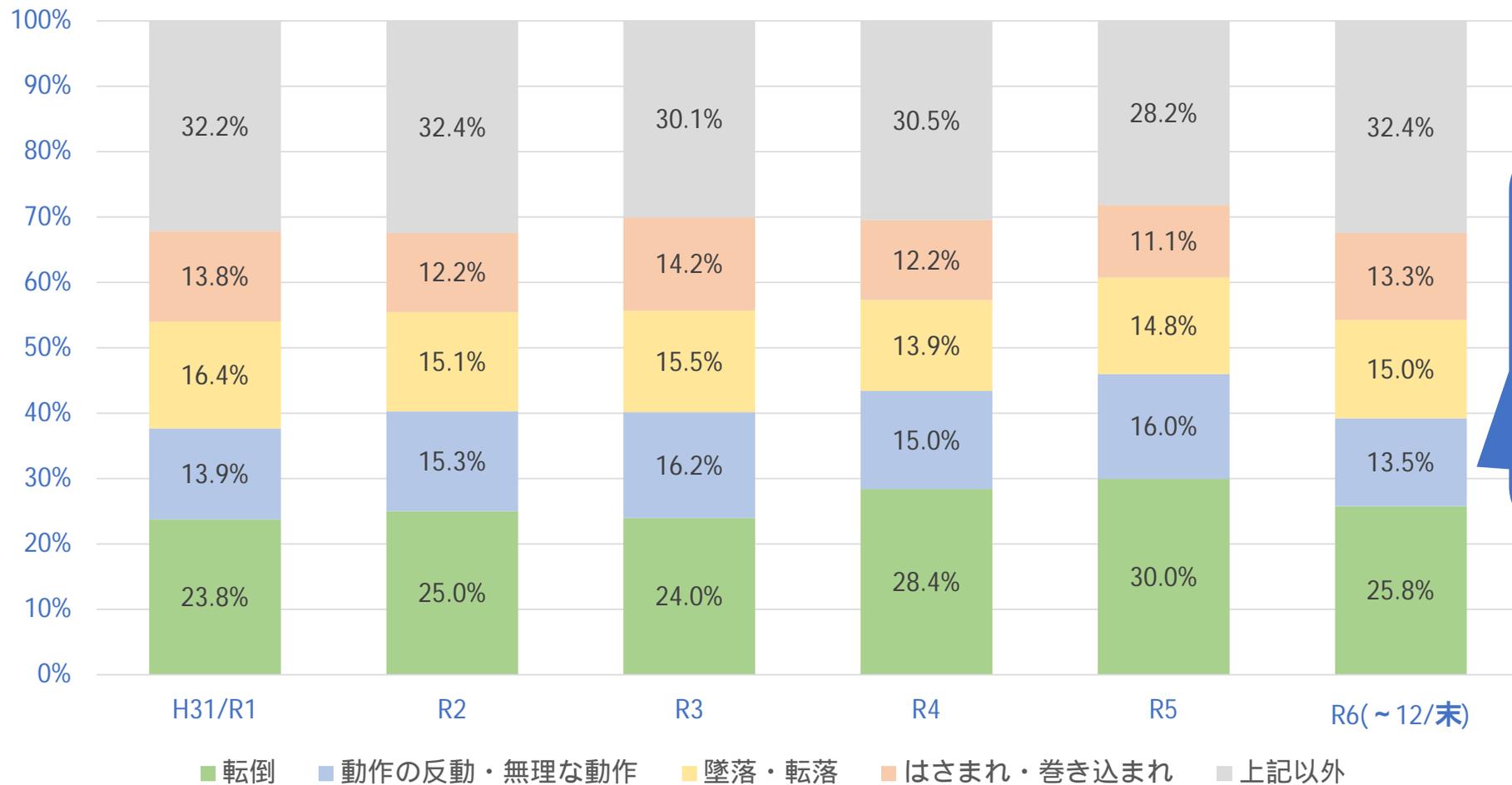
滋賀県内の死傷災害件数（年間 / 12月末現在）

【小売業】



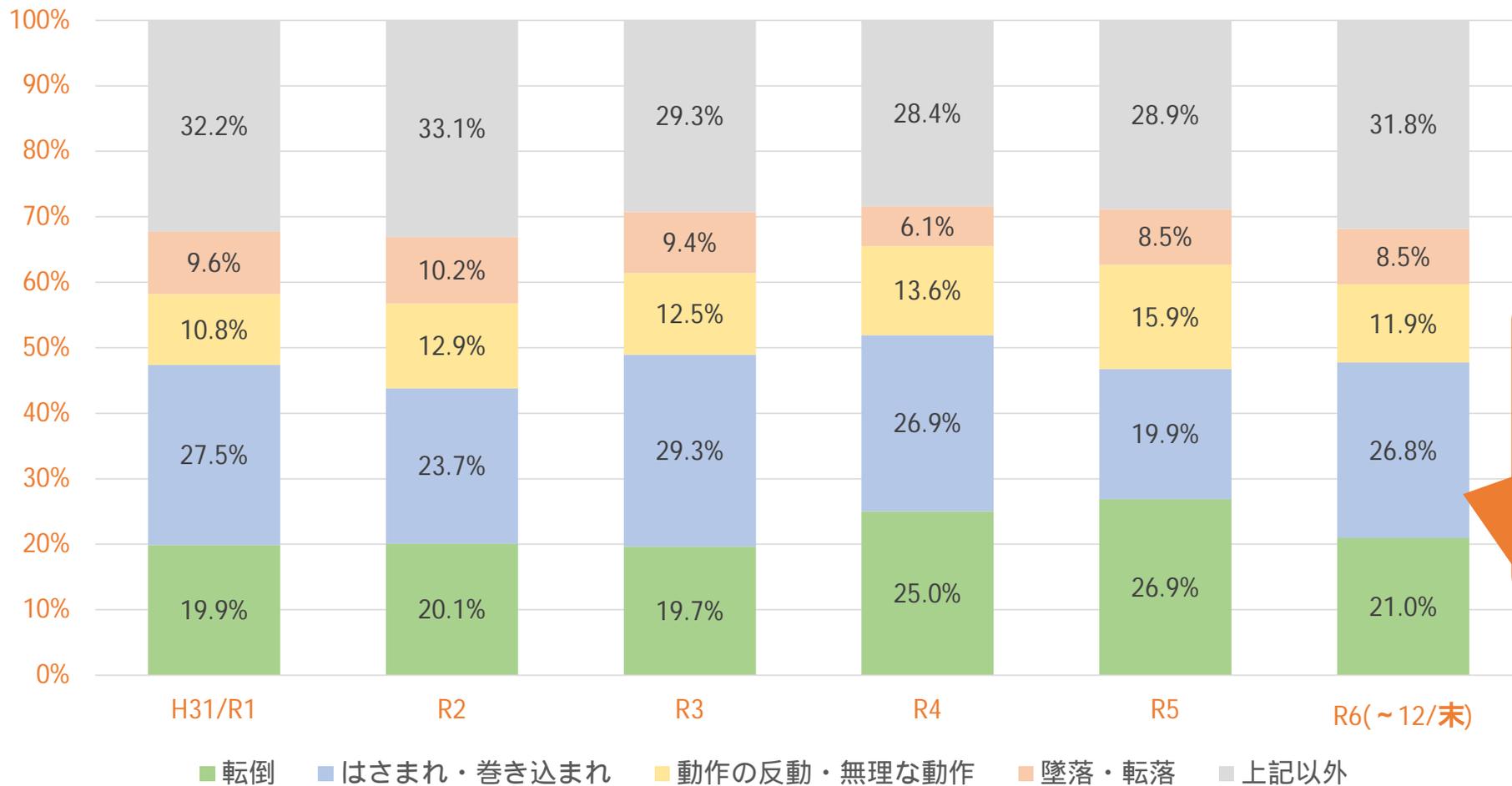
3 事故の型別労働災害発生状況に関する統計

滋賀県内の死傷災害の型別割合【全業種】



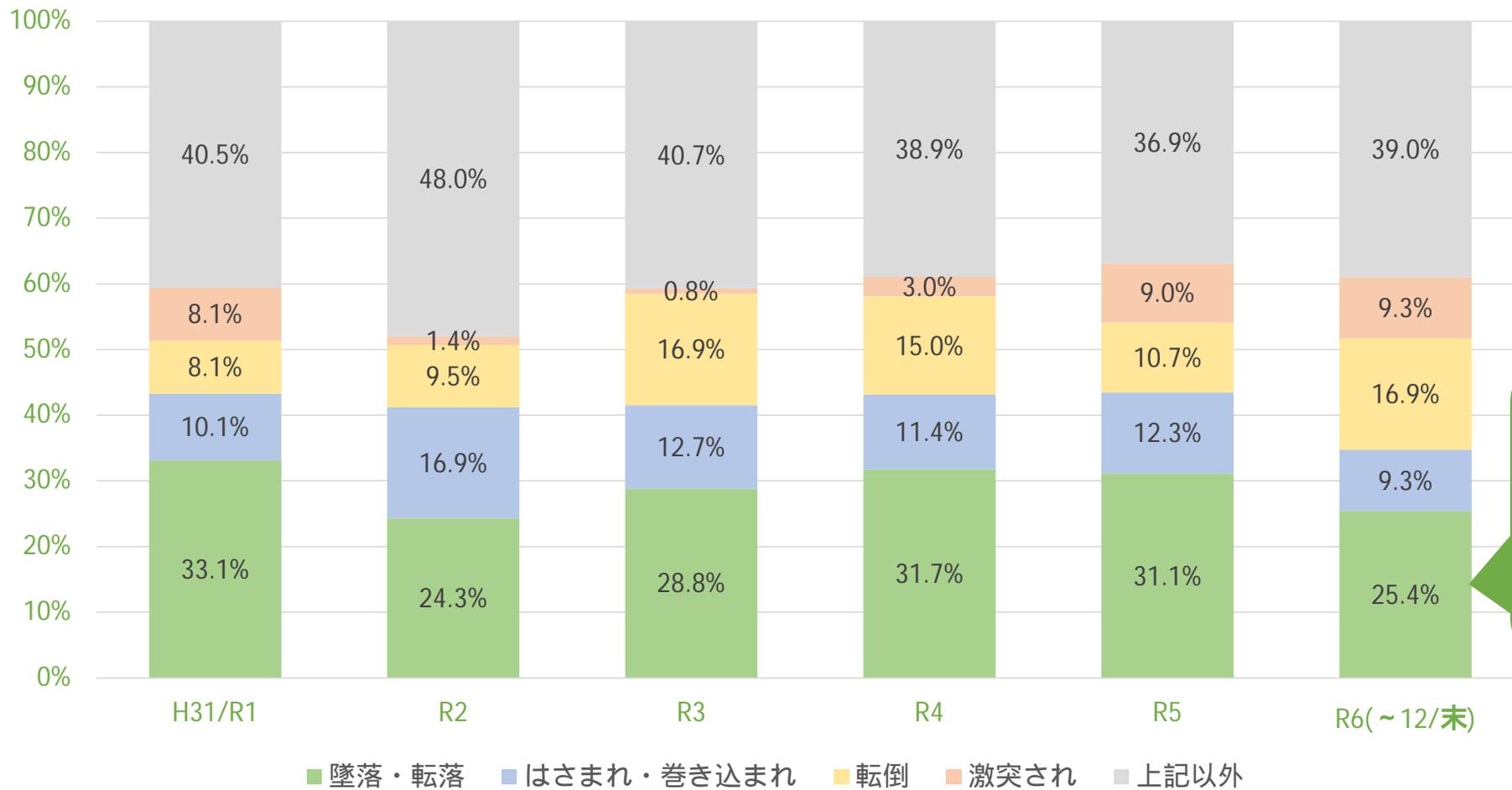
転倒災害が引き続きトップであるが、相対的に低下し、「はさまれ・巻き込まれ」の割合が増加

滋賀県内の死傷災害の型別割合【製造業】



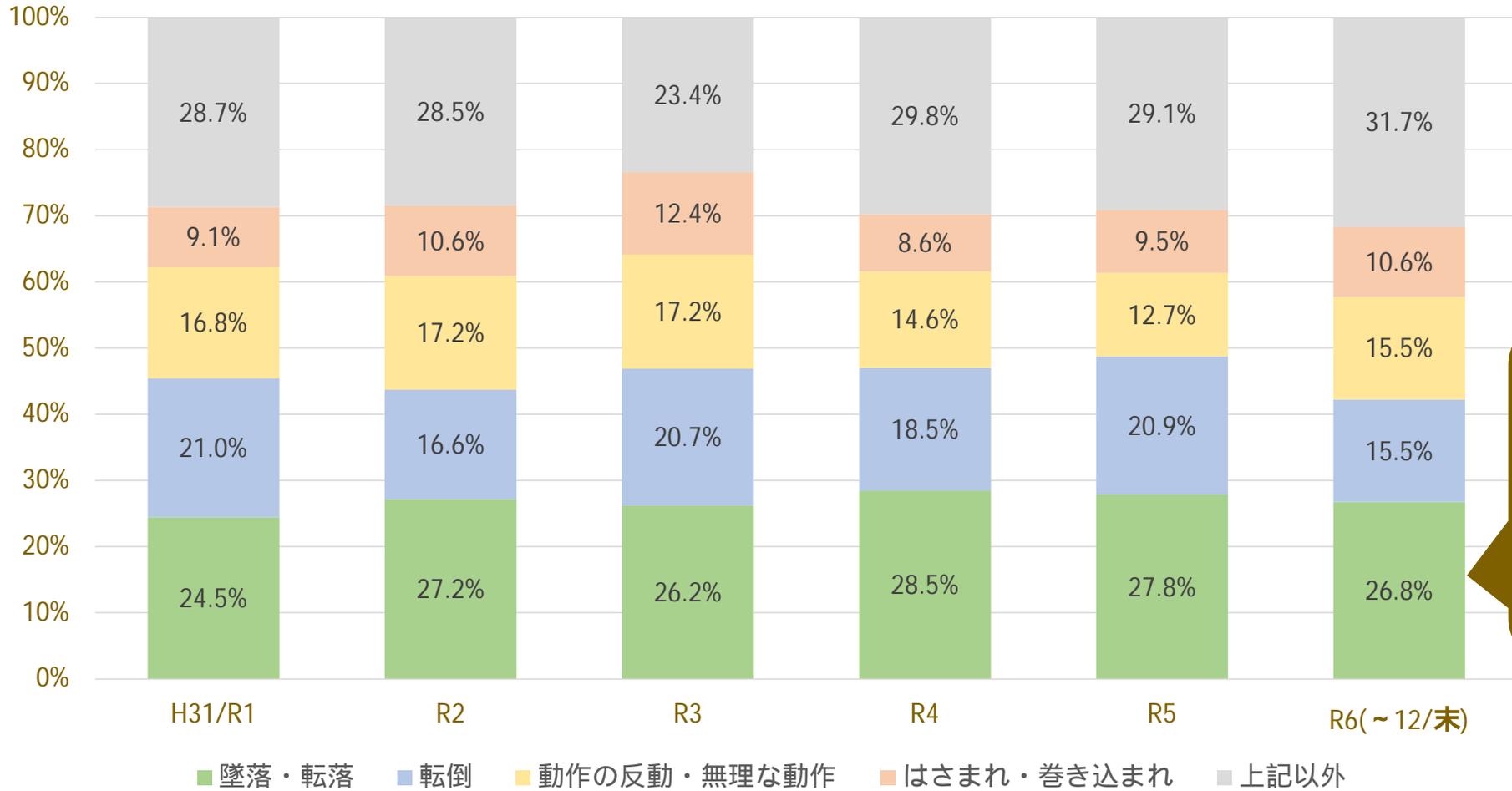
令和5年に「転倒」が最も多くなったが、今年
は再び「はさまれ・巻き込まれ」が最多
となっている。

滋賀県内の死傷災害の型別割合【建設業】



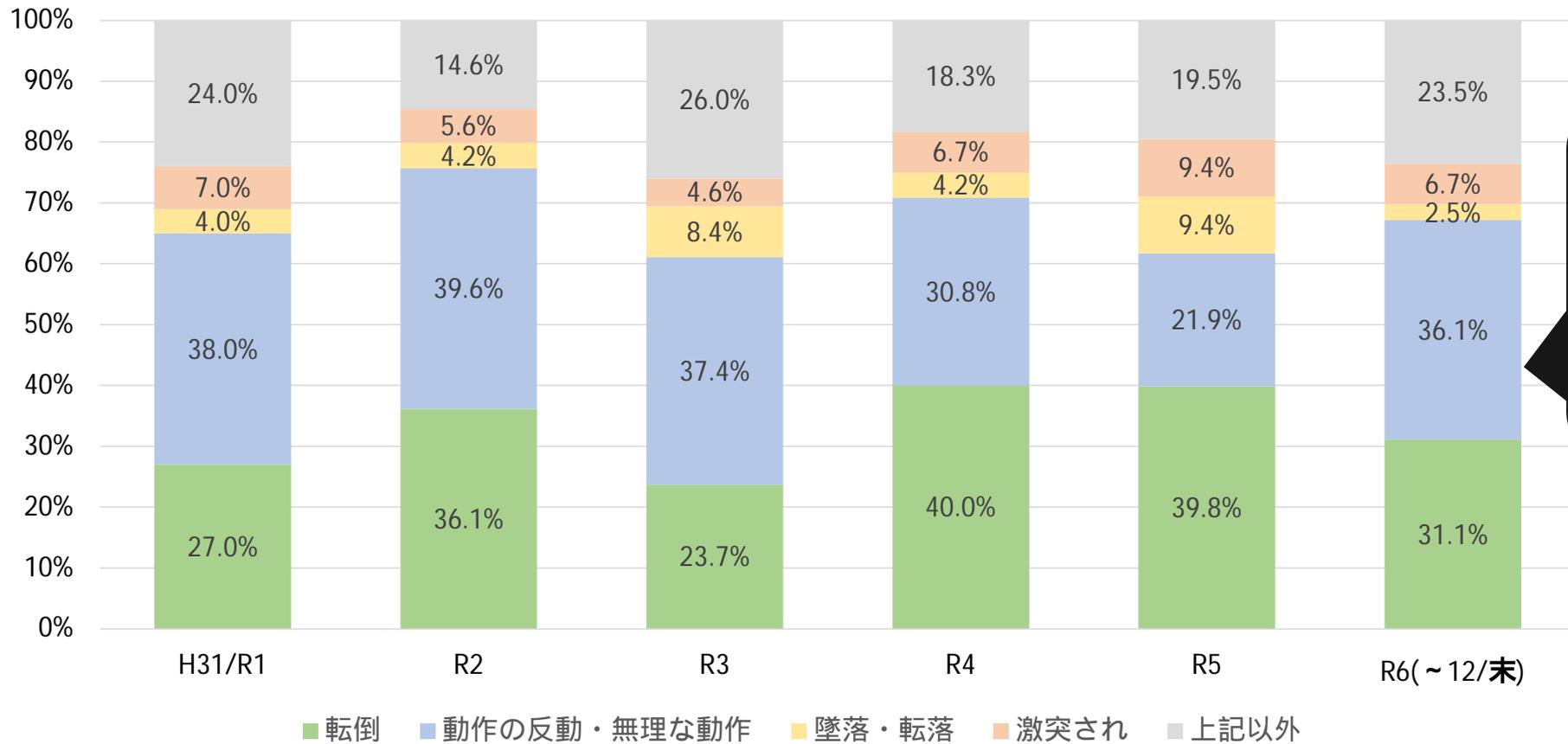
「墜落・転落」が最多の状況続くも、「転倒」が増加傾向。

滋賀県内の死傷災害の型別割合【運輸交通業】



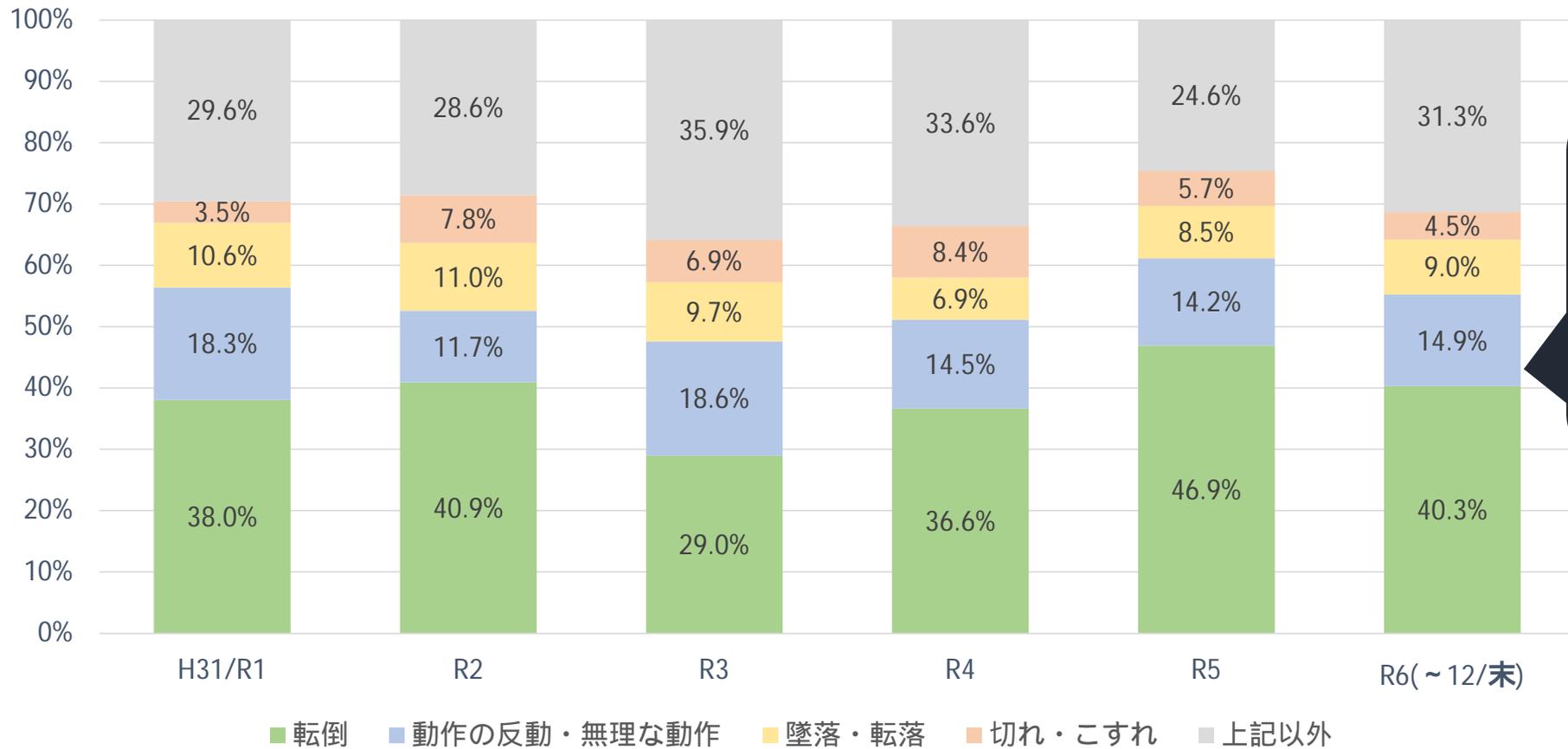
「墜落・転落」災害がトップで、全体の2～3割強を占める。

滋賀県内の死傷災害の型別割合 【社会福祉施設】



「転倒」及び「動作の反動・無理な動作」が非常に高い割合を占め、全体の7割近い

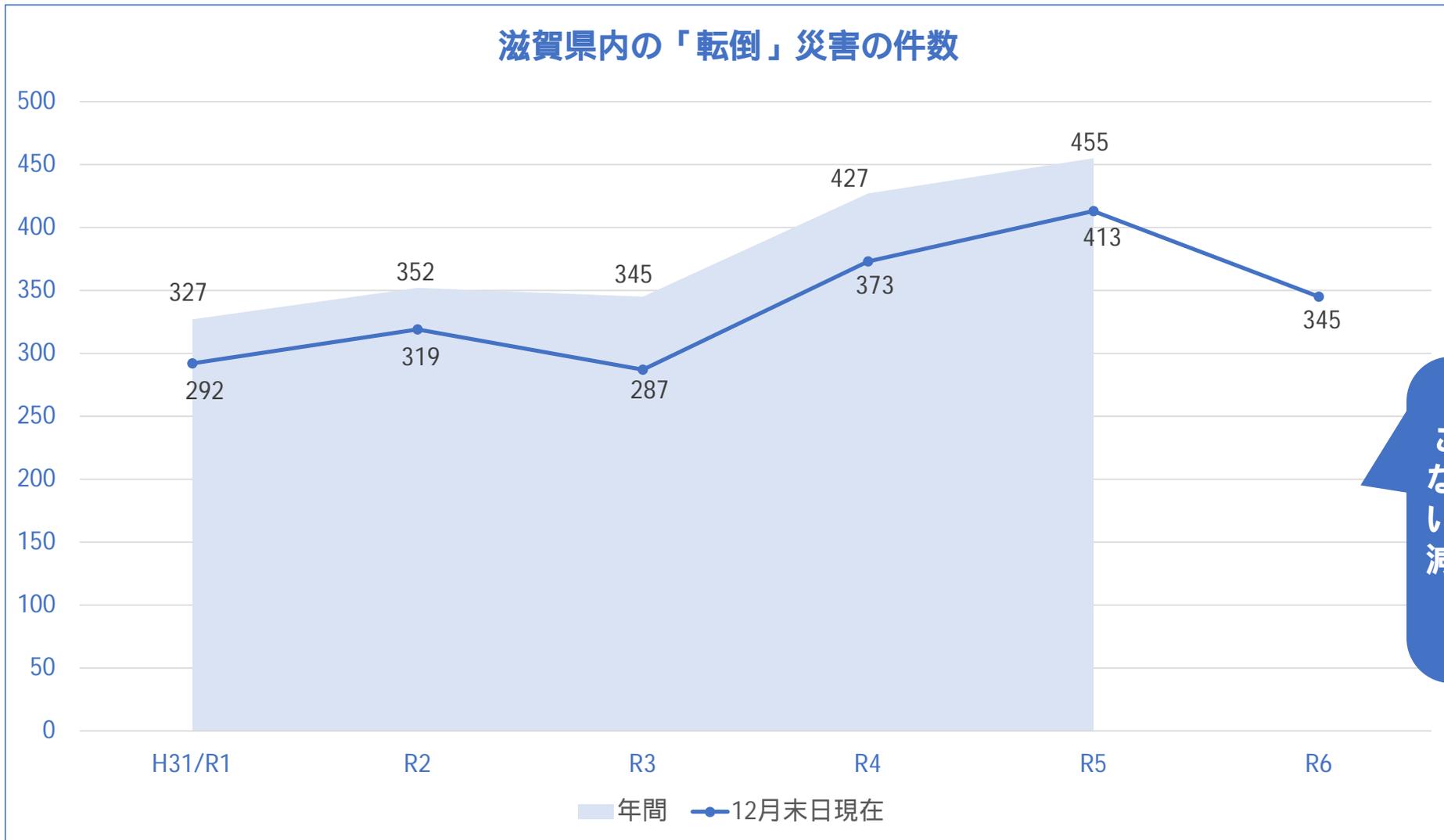
滋賀県内の死傷災害の型別割合 【小売業】



「転倒」及び「動作の反動・無理な動作」が非常に高い割合だが、より転倒の占める割合が高い

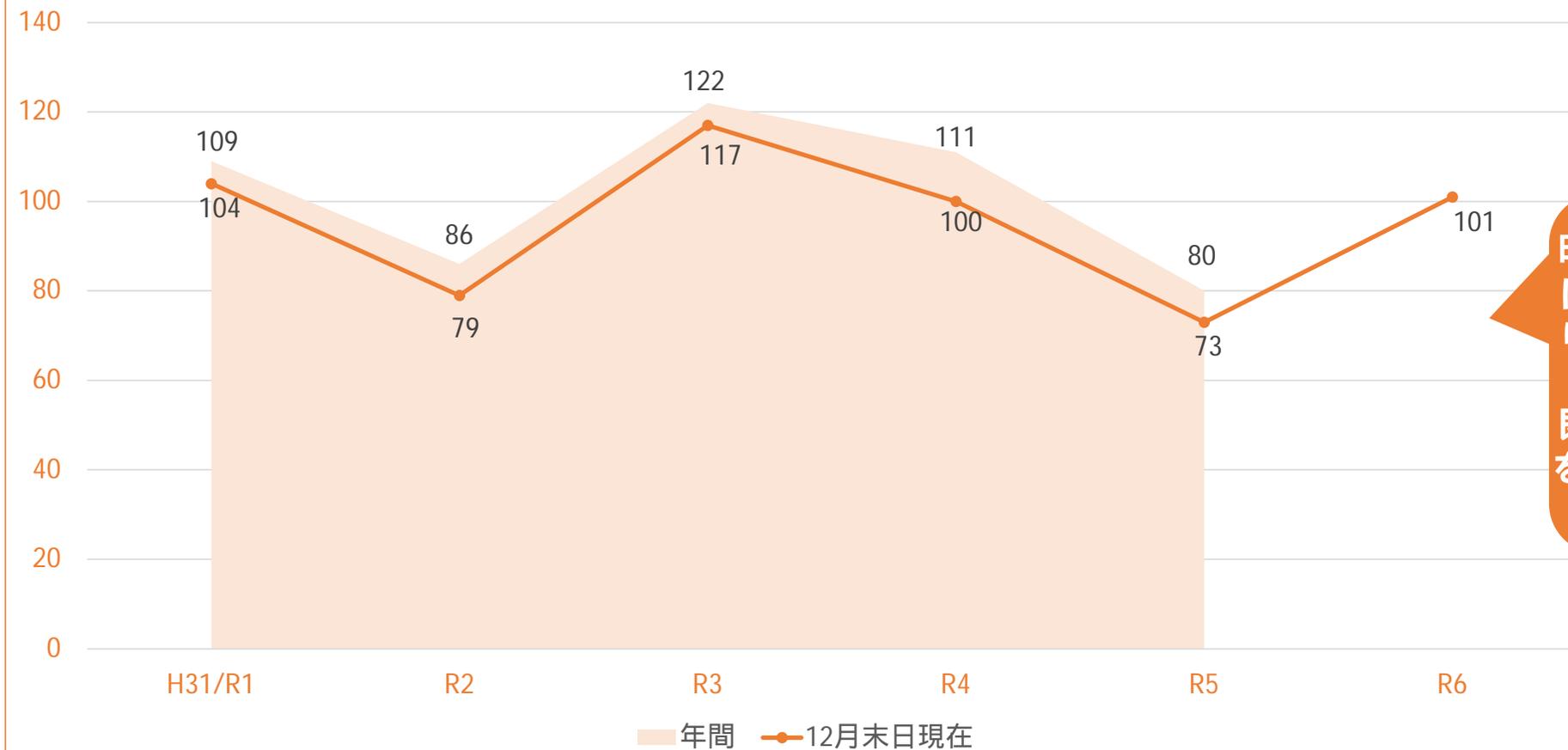
4 その他労働災害発生状況に関する統計

滋賀県内の「転倒」災害の件数



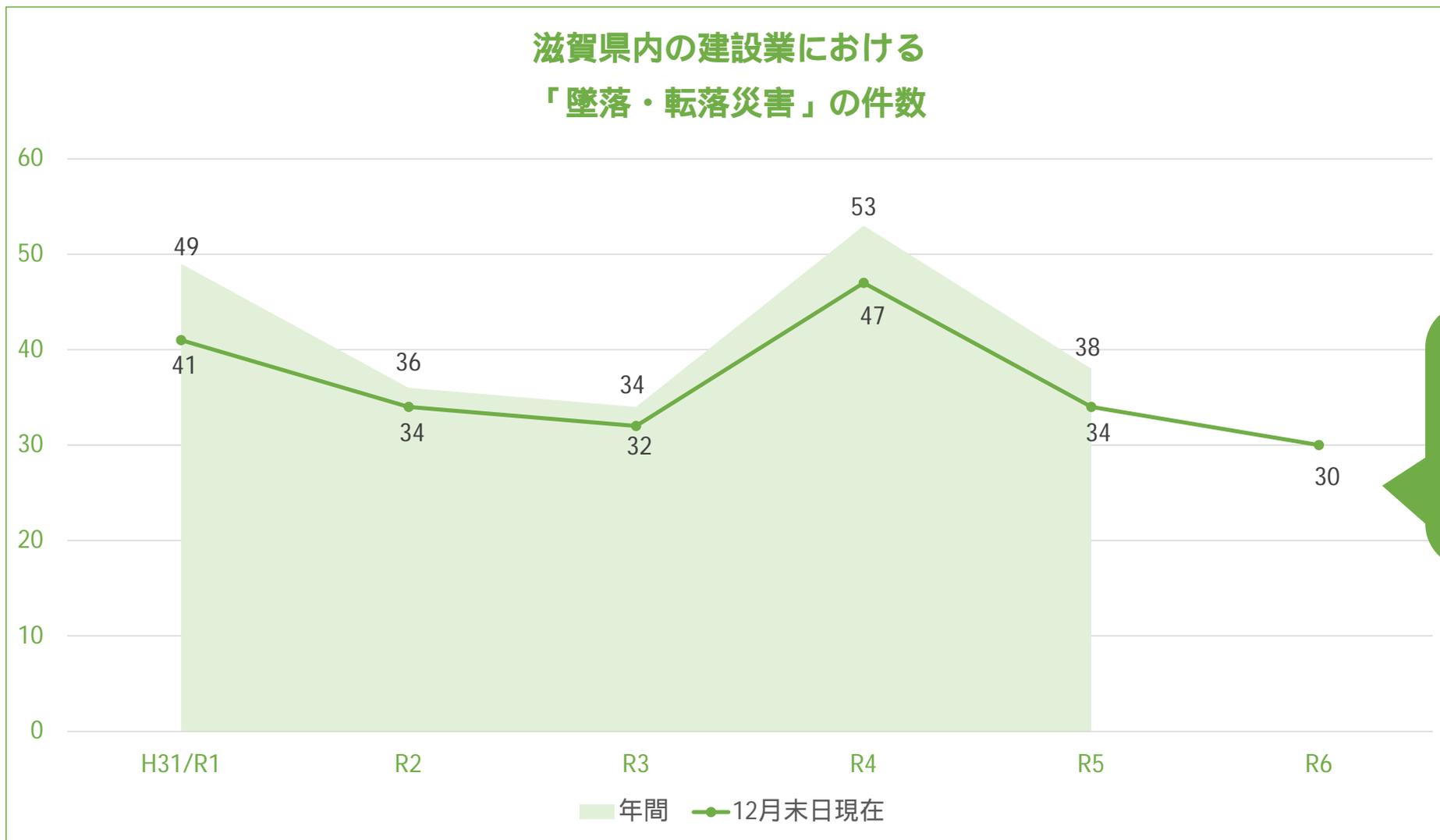
ここ2年間大幅な増加傾向が続いたが、今年は減少傾向に転じている。

滋賀県内の製造業における 「はさまれ・巻き込まれ災害」の件数



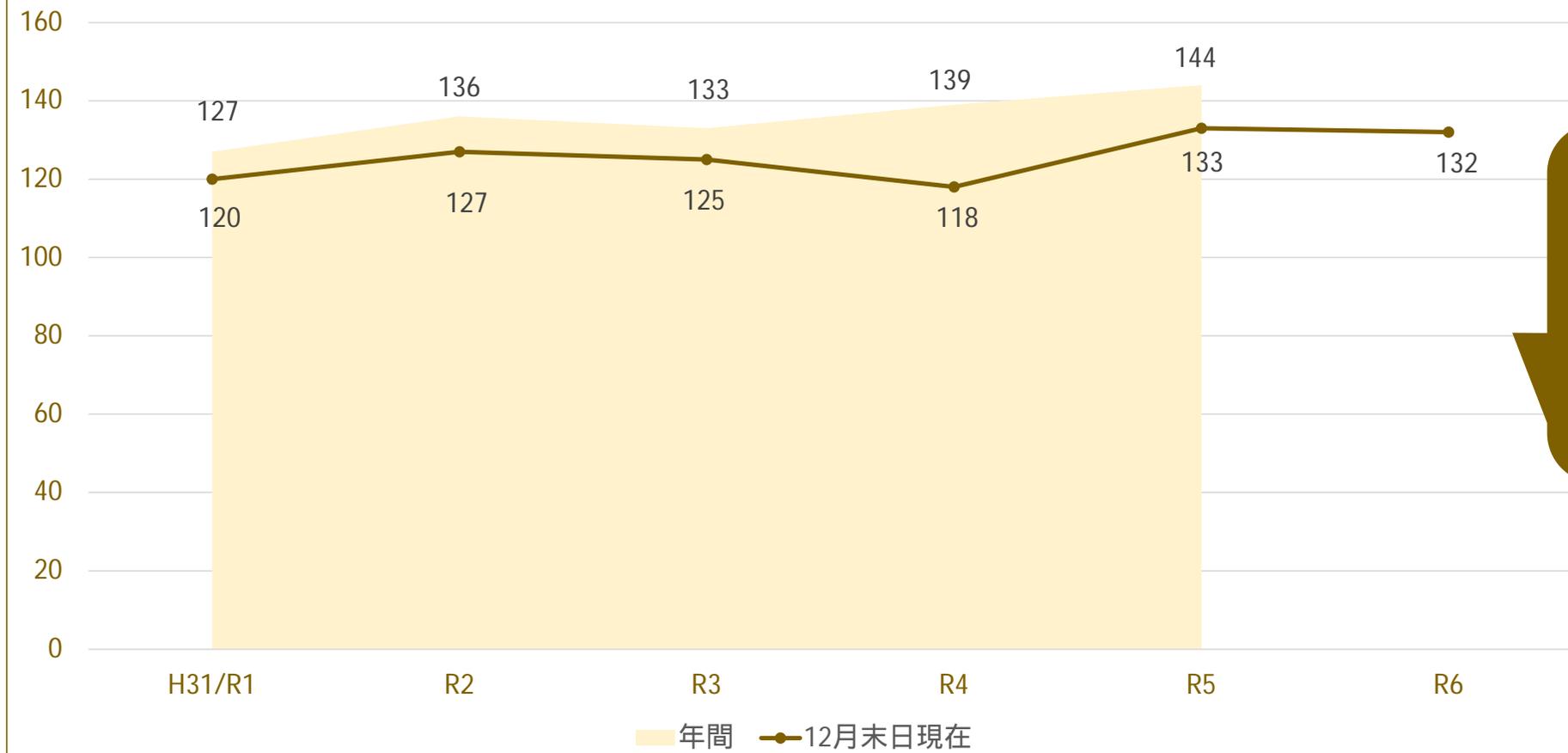
昨年の減少傾向に歯止めがかかり、大幅な増加傾向にある。既に昨年の件数を上回っている。

滋賀県内の建設業における 「墜落・転落災害」の件数



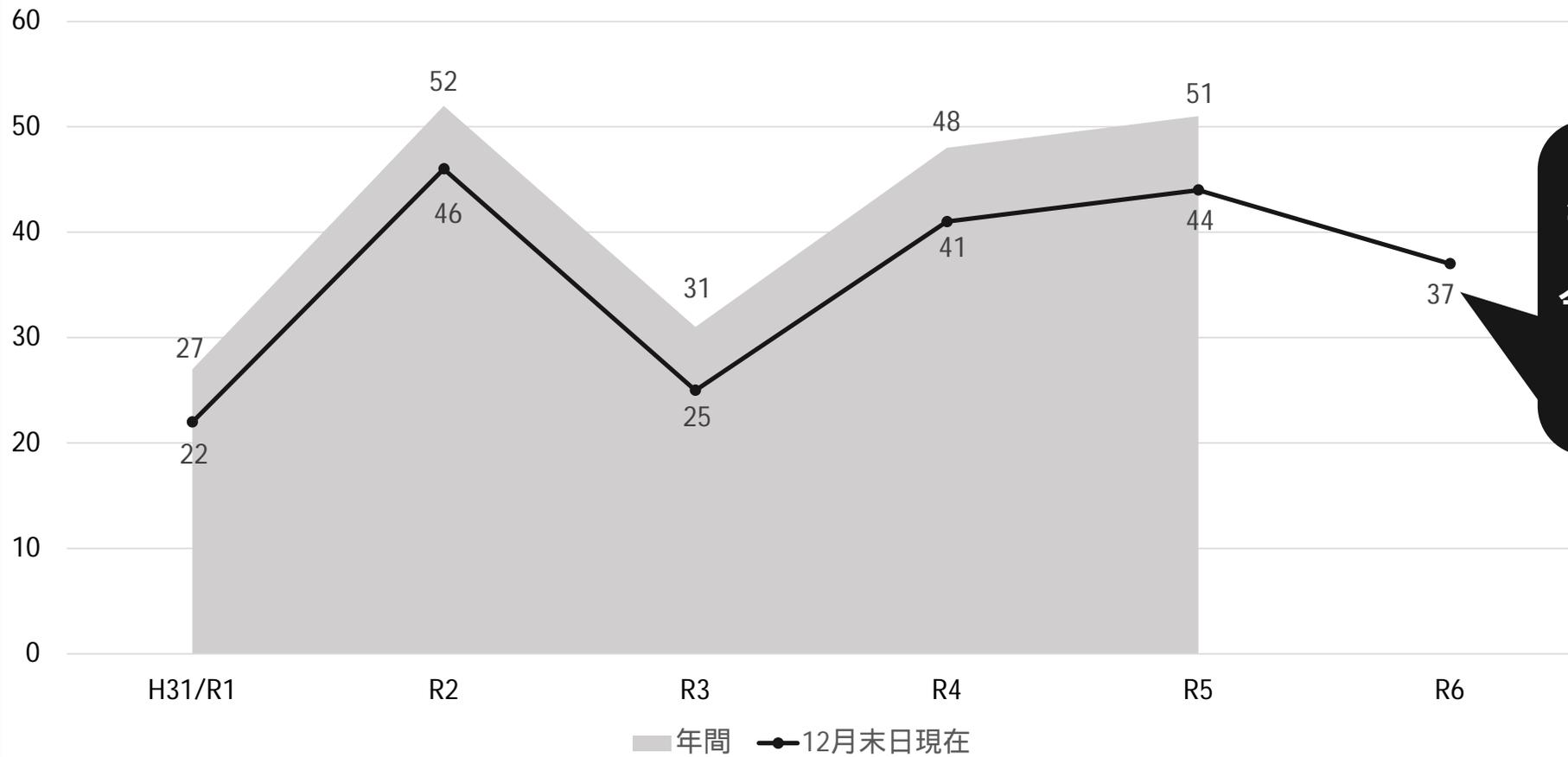
「墜落・転落」
災害の件数は昨
年に引き続き減
少傾向。

滋賀県内の道路貨物運送業における 死傷災害の件数



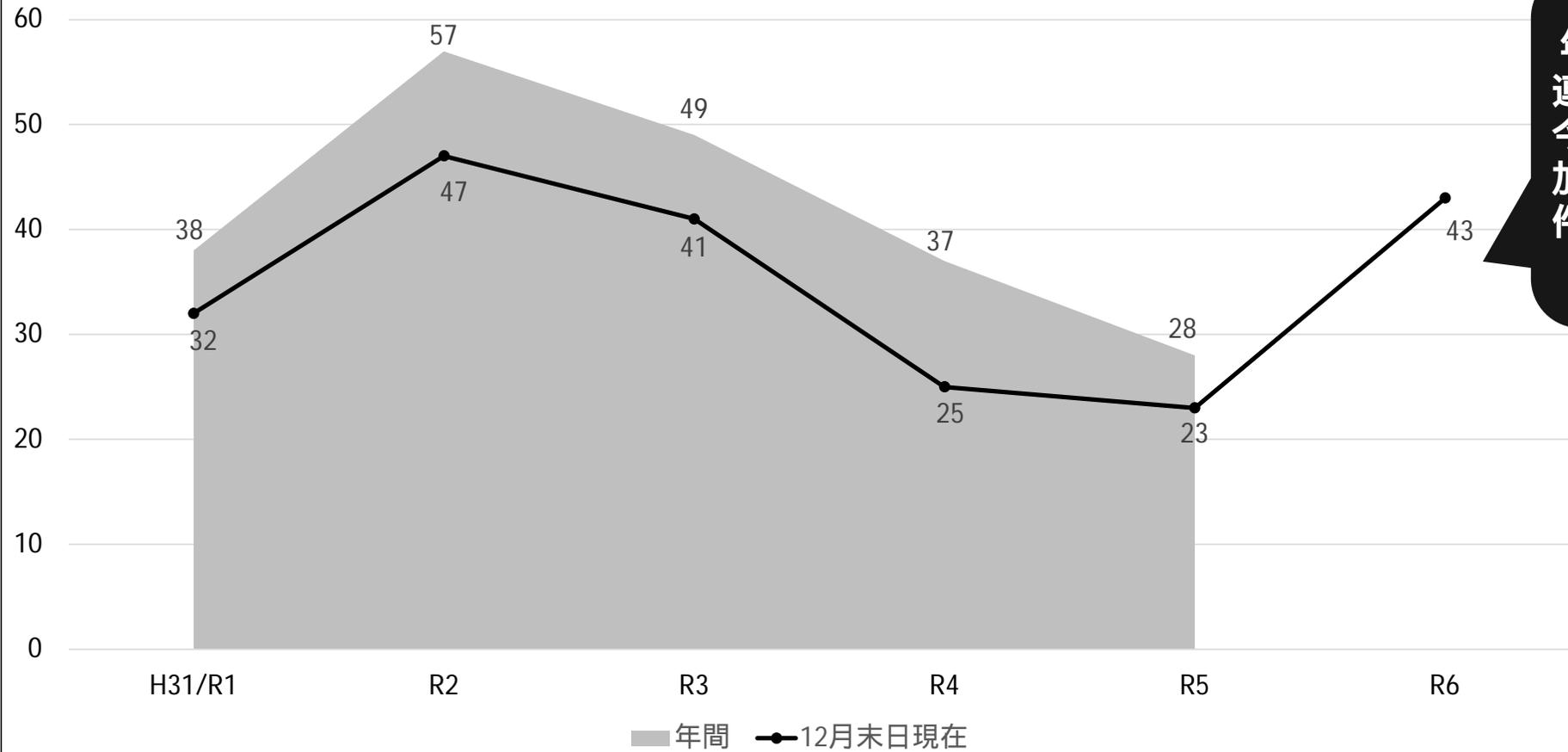
中期的な観点では増加傾向となっている。今年は昨年と比べ微減。

滋賀県内の社会福祉施設における 「転倒」災害の件数



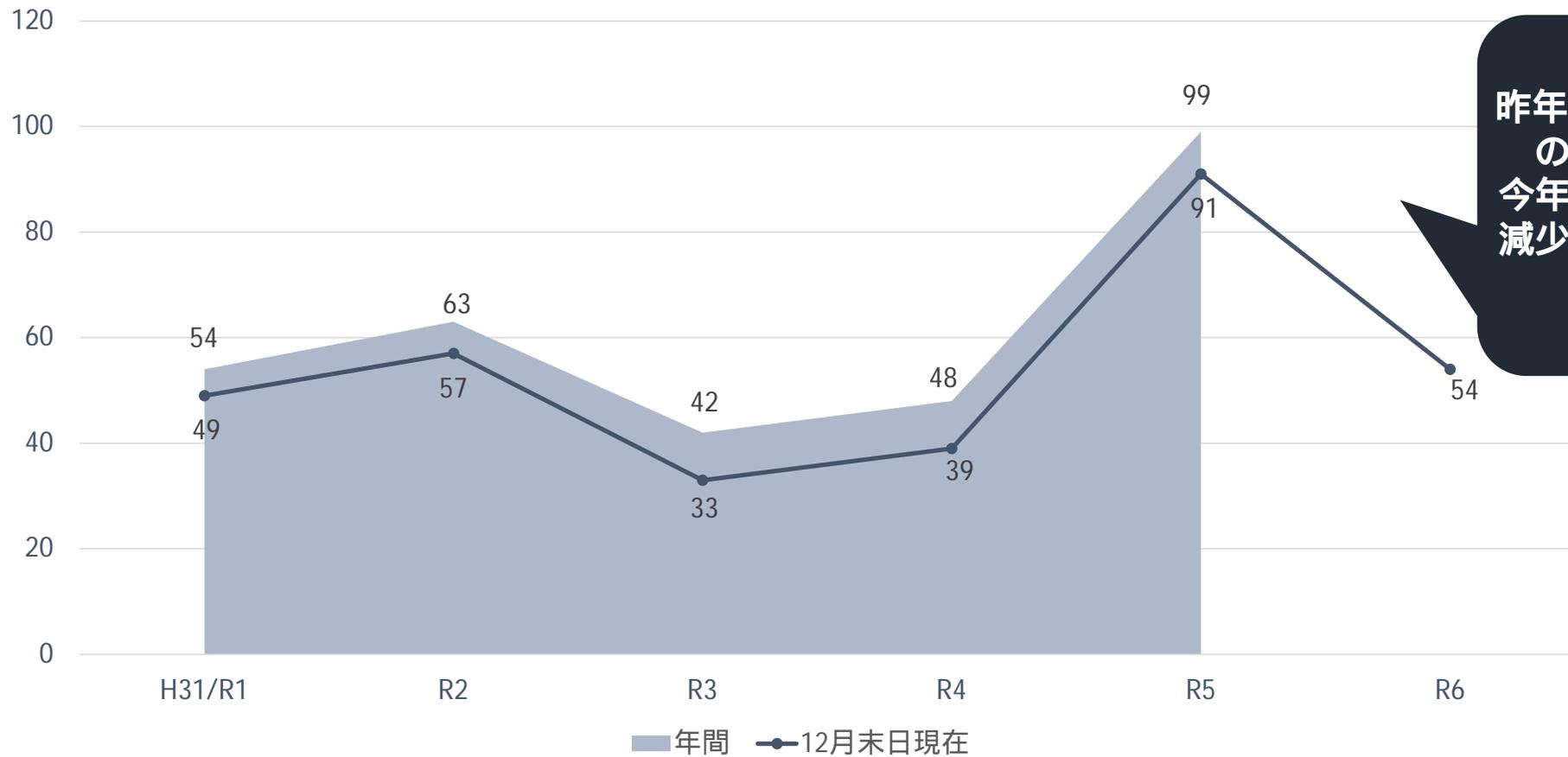
年間件数は2年連続で増加。今年はやや減少傾向。

滋賀県内の社会福祉施設における 「動作の反動・無理な動作」災害の件数



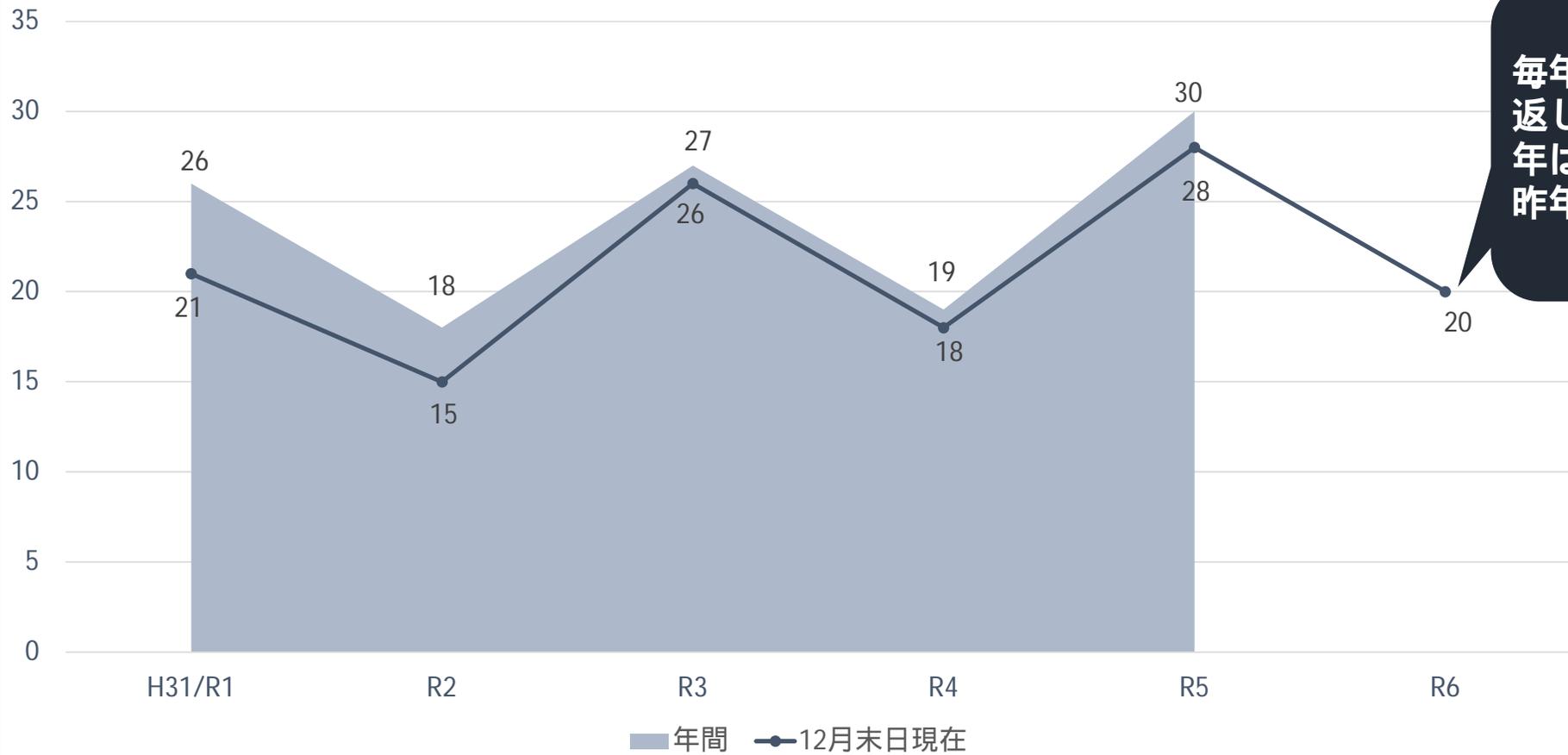
年間件数は3年連続で減少も、今年は大幅に増加し、一昨年の件数を上回っている。

滋賀県内の小売業における 「転倒」災害の件数



昨年は+106.3%
の大幅増。
今年は逆に大幅
減少している。

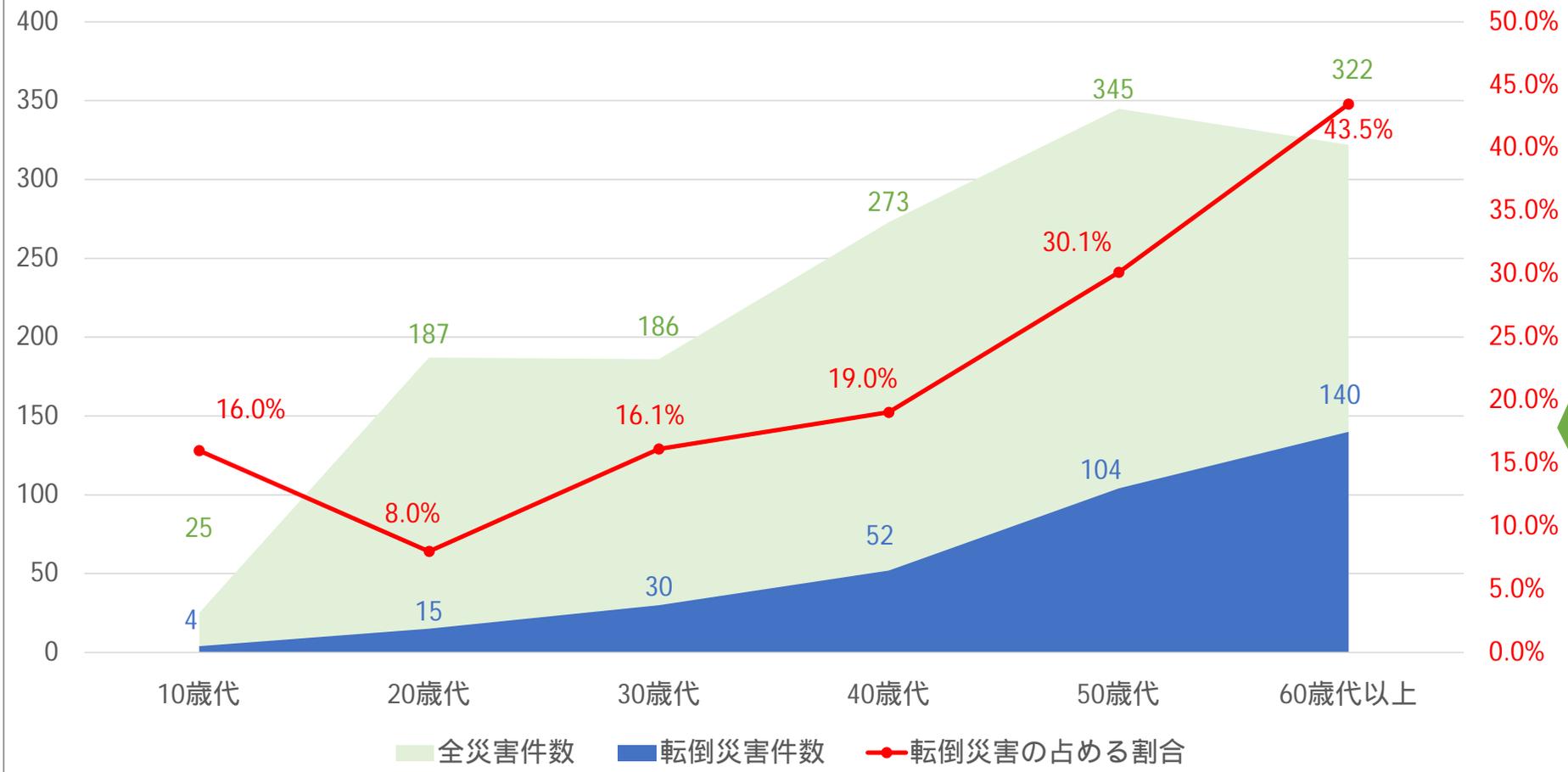
滋賀県内の小売業における 「動作の反動・無理な動作」災害の件数



毎年増減を繰り返している、今年は今時点では昨年より減少。

年代別災害件数と転倒災害の割合

令和6年（～12/末）



一部の例外を除いて、高年齢になる程転倒災害の割合が高くなる傾向が顕著であり、60歳代以上は4割超を占める